

特別講演会

「専門言語教育における異分野融合・異分野連携研究の推進に向けて」

キルギスと日本の日本語教育の現状と課題」

12月20日、キルギスと日本の日本語教育の現状と課題を3人の専門家から報告し、東洋学、国際関係論、教育学、心理学等の多様な研究分野を融合し、交流を図る場として特別講演会を開催します。様々な専門分野の研究者、学部生、大学院生の方々との学際的交流の場となることを期待しております。

-講演Ⅰ: 13:10-14:10

講演者: 西條 結人、広島大学准教授、博士(教育学)

テーマ: 説得を目的とする文章におけるキルギス人日本語学習者の文章構造の特徴:
キルギス語・ロシア語モノリンガルとバイリンガルの作文比較



-講演Ⅱ: 14:15-15:15

講演者: 柳本 大地、学習院大学(東京)准教授、博士(教育学)

テーマ: オンライン国際協働学習と外国語認知能力



-講演Ⅲ: 15:20-16:20

講演者: ヴォロビヨワ・ガリーナ、元ビシケク国立大学准教授、博士(日本語教育研究)

テーマ: 日本の漢字:起源、学習の問題、学習意欲の向上



- ディスカッション: 16:20-16:50

異分野融合・異分野連携研究の促進に向けての意見交換会

司会: ジョルブラコワ・マイラム(キルギス国立総合大学国際関係学・東洋学部)

- 日時: 2024年12月20日 13時から16時50分
- 場所: バラサグン記念キルギス国立総合大学カンファレンスルーム
(720033, Frunze street 547, Bishkek, Kyrgyz National University)
- 参加対象者: キルギス国立総合大学、他大学の教員、学生
- 使用言語: ロシア語(日本語を使用する場合は逐次通訳あり)